

第三者評価結果 公表シート

(このシートに書かれている内容は、そのまま富山県福祉情報システムにおいて公表されます。)

事業所名：富山市立長岡保育所

第三者評価機関名：社会福祉法人富山県社会福祉協議会

評価確定年月日：平成 29 年 2 月 24 日

1. 概評

◇ 特に評価の高い点

1. 積極的な地域相互交流と地域に密着した多彩な行事

自然環境に恵まれた当保育所は、保育目標の『健康で元気に遊ぶ子ども』を育てる仕組みとして、地域との関わり方についての基本的な考え方を文書化し、活用できる社会資源や地域の情報をこまめに収集している。具体的には、地域の「交通安全の啓発イベント」への参加、「山桜鑑賞と山桜の植樹」、「北代縄文広場・呉羽丘陵多目的広場・呉羽緑化公園・北代緑地公園での楽しい行事」、「地域の防火活動」への参加などがある。また、所長が進んで地域の会合に参加するなど地域団体との連携も大切にしている。一方、地元の敬老会で子ども達の遊戯や歌の披露や高齢者福祉施設訪問、保育所で開催する「童謡を歌う集い」に敬老会と地域の童謡を楽しむ会の方々を招待し交流の機会を持つなど、子どもの社会体験の場を広げ社会性や思いやり・豊かな感性を育てるプロセスの一環として、地域と密着した多彩な行事を実施し、地域と保育所との相互交流が促進されている。

2. 歯科健診後、保育に反映

富山市の歯科健診結果では、当保育所の虫歯発生率が高かった。連携している歯科医には、健診時に子ども達や職員に分かりやすい指導をしていただき「虫歯の予防」を実施している。職員が納得して子ども達や保護者に伝達し、家庭での理解を仰いでいる。保育士が歯科医から得た情報を丁寧に子ども達に話したところ、子ども達なりに理解し、歯科医の指導などが、その後の劇遊びに発展している。保育所を大切にしてくれる歯科医の丁寧な指導を子ども達や保護者に反映することは、着実に成長しようとする保育所の姿勢として評価出来る。

3. 意欲的な研修参加

副所長は「ペアレント・トレーニング指導者養成講座」に参加し、新しい視点から子ども達を見つめ保護者への啓蒙も図ろうと努力している。ペアレント・トレーニングとは、子育てにストレスや深刻な悩みを感じている家庭を支援する方法のひとつとしてアメリカで開始されたものである。家庭で起こりうる問題は、保育所でも同様である。この研修を続けていくことが子ども達や保護者に利益をもたらし、幼児期からの大人の関わりで子育て未来に明るい希望を与える。

◇ 改善を求められる点

1. 中・長期計画の策定と見直し

当保育所では、「保育理念・保育目標・保育方針」を一体的・切り離せないものとして捉え、誰もが分かり易いよう図式化し職員や保護者に示しており、単年度の事業計画も毎年見直したものを作成している。しかし、運営(経営)や保育に関する中・長期の事業計画は策定されていない。理念や基本方針の実現に向けたビジョンを明確にし、課題や問題点の解決・改善に向けた、具体的な数値目標や成果などを設定することにより、実施状況の評価と必要に応じて見直しを行えるような形式の『中・長期計画(3～5年)』の検討が期待される。そして、ビジョンに対して保育の内容・組織体制や設備の整備・職員体制や人材育成などの現状分析を行い、課題や問題点を明らかにした事業計画の策定が望まれる。

2. 園舎について

古い園舎での掃除は行き届いてはいるが、寒さやトイレなど建物構造のため園生活に不具合が生じている。一つの部屋に乳児と未満児とが一緒に生活しており、活動面で無理があるのではないかと思われる。3歳になったら2階で生活したりはしているが、0歳、1歳児には、穏やかな空間や静かな時間が必要である。また、遊戯室が2階にあり、小さい子が2階へ上がるのは危険や不便を感じる。

3. 保育計画の保護者参加について

保護者懇談会で意向調査を行っているが、地域や保護者の意向を十分活用するための統計や分析をきめ細かく行い、保育所の特性や理念を盛り込んだ保育計画の策定が望まれる。また、中規模保育所ならではの保護者参画型の計画策定は、保護者サイドにも自分達の意向が組み込まれたものとして実証され、保育計画に重みが増すものと思われる。

2. 大項目毎の特徴

1 運営管理

- ・理念、基本方針が適切に明文化され保育所内に掲示され、職員、保護者への周知が図られている。また、広報誌、パンフレット、ホームページ等に記載されている。基本方針は、行政の理念と整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
- ・施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌などについて職員に対して明らかにし、理解されるよう積極的に取り組んでいる。また、遵守すべき法令などを十分理解しており、行政関係者、地域住民や関係機関団体との適正な関係を保持している。
- ・施設長は、保育の質の向上に意欲を持ち、課題を把握して改善に向けて組織内に職員の意見を反映する体制を構築して、管理者のリーダーシップを発揮している。
- ・感染症の予防策が講じられ、発生時などの緊急時の子どもの安全確保について組織として体制を整備し、家庭などに感染症関連の印刷物を配布し、保育所への協力を仰いでいる。
- ・施設長は、実施した保育サービスの定期的な自己評価を行い職員の意見や保護者のニーズを収集し、組織運営や管理に生かしている。

2 地域の住民や関係機関との連携

・地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。活用できる社会資源や地域の情報をリスト化し、子どもの個別的な状況について配慮しながら、保育所や子どもの理解を得るため地域の人々と子どもとの交流の機会を設け、地域に密着した多彩な行事を企画し、職員やボランティアから支援が得られる体制を構築し、小学校、地域団体、地域住民との保育所の連携交流が定期的実施されている。

3 子どもの発達援助

・健康管理や食事には細心の注意を払っている。マニュアルが完備し職員の理解と共有が徹底している。アレルギーを持つ子においては、かかりつけ医師、家庭、保育士、調理員の連携がしっかりとし、事故が起きないように徹底している。

・健康診断結果を保育に反映している。歯科の先生の協力もあり、虫歯予防に職員が熱心に取り組んでいる。

・長岡保育所の食育の年間計画が年齢別に作成されており、調理員が子どもたちのため、ゲームで食品群を知らせ、マナーも身につくように一緒に食事を摂っている。

・保育内容では、保育士が子どもに対する言葉かけや対応をお互いに話し合っており、そのための自己評価は期日を決め実施、質の向上にも取り組んでいる。

・個別配慮児には、保育士が肯定的な言葉かけを心がけ丁寧な関わりを心がけることで子どもたちの手本となり、自然に受け入れられるように関係を改善している。また、保護者の話したいという態度や素振りを見逃さず心に寄り添うように相談に乗っている。

4 子育て支援

・送迎時は、保護者との会話や言葉かけを重視し、悩みや要望など積極的に汲み取るように努力している。また、連絡帳は保護者が楽しみにしていることもあり、低年齢児では、きめ細かく記入している。

・親子サークルや障害児通所事業を実施し、話を聞いたり、アンケートを取ったり要望内容を把握している。時々、母子保健推進員もサークルに参加し、利用者から信頼を得ている。その意見や要望からサークルの内容や活動を定めることで充実した親子支援に繋がっている。

3. 各小項目にかかる第三者評価結果(ABCD評価結果) (別紙)

4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けるにあたり、職員一人一人が、保育所の環境を遊びの面、衛生面、安全面等から見直し、どのように改善すればより良い保育が提供できるのかを、チェックリストなどを用いて客観的に考え続けました。職員間で学びあったり、互いの保育の姿勢に影響を受けあったりしながら保育所全体で質の向上を図ることができたと、受審できたことを感謝しております。

高く評価していただいた点は更に向上できるように、地域の方々との連携を深めながら努力していきたいと思えます。改善すべき点については、保護者の意向を保育に取り入れ、地域の子育てセンターとしての役割を果たしていきたいと思えます。建物は古いですが、子ども達が安心して過ごせるような環境づくりの工夫も図っていきたくと思えます。

最後に今回の受審にあたり、ご尽力いただいた評価機関の皆様に感謝申し上げます。

別紙 各小項目にかかる第三者評価結果（A B C D評価結果）

大項目		
中項目	小項目	評価

1 運営管理		
(1)基本方針	①理念及び基本方針が明文化され、職員、保護者、関係者に周知するための取り組みが行われている。	A
(2)中・長期計画	①中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	B
	②中・長期計画が適切に策定されている。	B
(3)組織運営	①保育の質の向上や改善のための取り組みを、定期的な自己評価など、職員参加により行っている。	A
	②職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	A
(4)守秘義務の遵守	①守秘義務の遵守を周知している。	A
(5)情報提供・保護者の意見の反映	①情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	A
	②保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。	A
	③保育サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	A
(6)安全・衛生管理	①事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されているとともに、事故防止のための具体的な取り組みを行っている。	A
	②調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	A
(7)人事管理	①人事管理の体制が整備されている。	A
(8)経営管理	①予算管理の体制が整備されている。	B
(9)管理者の責任とリーダーシップ	①管理者の責任が明確にされているとともに、リーダーシップが発揮されている。	A

2 地域の住民や関係機関との連携		
(1)地域の住民や関係機関・団体との連携	①医療機関・児童相談所などとの相談・連携体制を整えるとともに、その他地域の関係機関に関する情報を収集している。	A
	②小学校、地域団体、地域住民などとの連携、交流が図られている。	A
(2)実習・ボランティア・保育体験	①実習生、ボランティア、保育体験などの受け入れ体制が整っている。	A

3 子どもの発達援助		
(1) 発達援助の基本	①保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	B
	②指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を見直している。	A
	③一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	A
	④一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。	A
	⑤一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	A
(2) 健康管理・食事	①登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	A
	②健康診断(歯科健診含む)の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
	③感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。	A
	④専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	A
	⑤日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	A
	⑥食事を楽しむことができる工夫を保育士がしている。	A
	⑦食事を楽しむことができる工夫を栄養士、調理員などがしている。	A
(3) 保育環境	①子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	A
	②生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	A
(4) 保育内容	①子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	A
	②基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	A
	③子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	A
	④身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。	A
	⑤さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	A
	⑥遊びや生活を通じて、人間関係が育つよう配慮している。	A
	⑦子どもの人権に十分配慮するとともに、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	A
	⑧性差への先入観による固定的な観念や役割分担意識を植え付けないよう配慮している。	A
	⑨乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	B
	⑩長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	⑪障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	B

4 子育て支援		
(1)入所児童の保護者の育児支援	①子どもの発達や育児などについて、懇談会や保育参加など保護者と共通理解を得るための機会を設けるとともに、一人一人の保護者と日常的な情報交換や個別面談などを行っている。	A
	②虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、児童相談所などの関係機関に照会・通告を行う体制が整っている。	A
(2)多様な子育てニーズへの対応	①多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを活動や事業に反映している。	A
(3)地域の子育て支援	①育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	A
	②一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	—